



記念品を受け取る矢野亀さん（赤松）

おめでとうございます 百歳長寿祝

赤松の矢野亀さんが11月28日に満百歳の誕生日を迎えられました。

矢野さんは明治39年生まれ。町長が記念の品を持って訪問すると、百歳とは思えない程若々しい姿で、元気ににつこり笑って出迎えていただきました。

「長寿の秘訣は」と尋ねると、「よく食べて、よく笑って、よく寝ること、そして、家族楽しく仲良く過ごすこと」だと話してくださいました。

これからも、家族仲良くますます元氣にお過ごしください。



熱心に講演を聞きました

地域の住民による オオサンショウウオ祭

オオサンショウウオは、約3千万年間ほとんど形を変えずに生き残ったことから「生きた化石」と言われ、成長すると1mを超える世界最大の両生類です。また生息地も、中国揚子江流域、アメリカミシシッピ川流域と日本の3か国でしか見られません。

日本では、中国山地を中心とした岐阜県から大分県までの一

部の河川に限定されており、大変貴重な生物です。

オオサンショウウオの保護を考える、第3回オオサンショウウオ祭が、10月29日（日）に、名和トレーニングセンターで行われました。（名和川のオオサンショウウオを守る会主催）。

県の河川砂防課、都市計画課の職員や町民など、約30人が参加しました。



保護したオオサンショウウオを宮川に放流しました

鳥取大学大学院生である岡田純さんが、名和川をはじめとした県内のオオサンショウウオの生育状況を報告。岡田氏は、参加した子どもたちにも興味を持ってもらうためにオオサンショウウオに関するクイズを出したりして、参加者の関心を高めました。

講演後は、旬の川蟹汁や栗ご飯で昼食会が和やかに行われました。

この祭は、地域の住民の方々が主体となったオオサンショウオ保護の取り組みです。参加者は、オオサンショウウオの保護や環境問題について、地域住民が主体となって改善すべきこととして、理解を深めていました。

なお、大山町は、オオサンショウオとダイセンキヤラボクという国の特別天然記念物に指定されている動植物が二つ生息している県内唯一の町です。

お願い

※特別天然記念物に指定されている動植物を許可なく捕獲したり移動したりすることは、法律により固く禁じられています。また、生息地以外の場所でおオオサンショウウオを発見した場合は、早急に保護をする必要がありますので、大山町教育委員会に通報していただきますようにご協力をお願いします。